



京都外国語大学  
Kyoto University of Foreign Studies

### 日本語学科「日本語教員養成課程」

#### ○沿革と概要

京都外国語大学における日本語教員養成は、1992年の日本語学科設立に端を発します。以来、日本語教員を目指す外国人留学生と日本語母語話者がともに学ぶ環境を整えてきました。

日本語で日本語を教える体験ができる機会も国内外に準備されています。クアアチアや韓国での4ヶ月以上の長期実習体験、夏季・春季休暇を活用した韓国・台湾での2週間の短期の海外教育実習体験も実施しています。また、海外の学習者への会話パートナーや、国内の日本語教室でのボランティア活動など、卒業後の進路を見据えた多様な課外活動の場も用意されています。

2025年5月には、登録日本語教員養成機関および登録実践研修機関となりました。養成課程の授業に加え、日本語教育に関わる幅広い科目を履修できること、実習・ボランティアを通じて「日本語で日本語を教える」実践知識を積み重ねられることが本学の特色です。さらに設立当初から、「国語教諭」と「日本語教員」の両資格を卒業時に同時取得できる点も大きな強みとなっています。



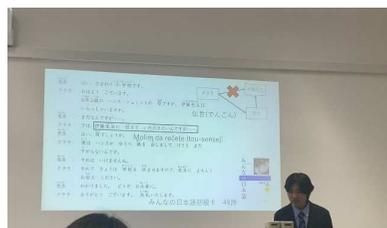
クアアチア プーラ大学での実習風景

#### ○受講資格・定員

受講資格は日本語学科の学生であることです。現在は学科の定員55名を上限としています。

#### ○課程修了要件

養成課程では、実践研修を含む36単位を修得する必要があります。概論的な科目である、「日本語学の基礎知識」「日本語教育の基礎知識」「日本語教育実習入門Ⅰ」などを1年次に履修します。その後、2年次以降で、言語学・教育文法・異文化理解など専門科目を段階的に学び、4年次では実践研修を行います。



授業実践中の学生

#### ○授業の一例

一例として、「日本語教育実習入門Ⅰ」を挙げます。1年次秋学期から履修できる科目で、クラスメイトが教師役と学生役になり、実際に学生がミニ授業を行います。

2年次は必修ではありませんが「日本語教育実習入門Ⅱ」もあり、実際の学習者に対して教える体験もすることができます。

このように、4年次の実践研修までに少しずつ段階を踏んで、教える経験をすることができるのが本学の特徴です。



授業風景 日本語教育実習入門Ⅱ（選択科目）

#### ○教壇実習

本学の日本語学科は登録日本語教員養成機関および登録実践研修機関となっています。実践研修（教壇実習）は養成課程設置科目の1つとして、学内の留学生別科か、学外の日本語学校で行います。

#### ○学習支援体制

本学には、「日本語教員養成推進室」があります。推進室には日本語教員としての経験のある大学院生たちがティーチングアシスタントとして交代で常駐しており、さまざまなことに対してアドバイスをもらったりすることもできます。



日本語教員養成推進室 実習前指導の様子

また、このような部屋が学内にあるため、先輩と情報交換したり、同級生と模擬授業のプランを練ったりするのに使えます。推進室に通う

中で、同じ目標を持つ学生同士のつながりが自然と生まれています。それに加えて、「外国語自律学習支援室 NINJA」もあります。日本語教育の支援に特化してはいませんが、外国語学習、レポートの書き方や卒論の進め方なども相談することが可能です。

#### ○課程修了と進路

課程修了者は日本語教育の専門職として活躍することが多いのはもちろんですが、公務員として外国人政策・地方行政に関わる者、日本語コミュニケーションスキルを活かして、国内外の国際的な企業に就職した者も少なくありません。

また、卒業後に大学院に進んで更に専門性の高い日本語教育を修得した後、国際交流基金の専門家になったり、国内外の大学・大学院での教員・研究者になったりした卒業生もいます。

さらに、国語や英語の教員免許も取得し、日本語指導もできる学校教員として活躍している卒業生もいます。

#### ○京都外国語大学の養成課程について知るには

本学の日本語学科は公式ホームページやフェイスブック・インスタグラムを運営しています。履修に関する規則等の情報のほか、在学生の留学体験、卒業生の就職後の体験談などの情報もあります。ぜひ一度ご覧ください。



フェイスブック



インスタグラム

#### ■問い合わせ先

京都外国語大学 教育支援課 資格課程担当  
075-322-6764